

「カリエスにおけるリスクファクターとその諸問題」

「カリオロジー」という分野が我が国へ紹介され久しい。カリオロジーというのは、歯科医学の中の一分野として教育・研究されているが、臨床の現場ではすべての歯科医師・歯科衛生士にとっては毎日のように実践している知識で溢れている。そのなかで特に、将来のカリエスの発生を予測すること、すなわちカリエスのリスク評価は歯科補綴学、歯周病学のみならず、すべての臨床分野での治療計画やメンテナンス計画に影響を与える。専門医制度が確立されているスウェーデンにおいて、カリオロジーには専門医の資格が存在していない。カリオロジーの主役はGPなのである。

カリエスのリスク評価は未来を予測する作業であるので、不確実性からは決して逃れることはできない。この不確実性に関してどう対処し、考えていくかに関しても臨床の現場にいると常に悩まされる。今回は実際の診療室で、カリエスのリスク評価は何をどう調べていくかに関して、科学的な背景を踏まえて敢えて“スタンダード”なお話してみたい。

大野純一